

2020

AYAがんに関する活動の記録



樋口宗孝がん研究基金を活用したものにはロゴを掲載



ある日、突然、がんが自分のことになる。

国民ふたりにひとりが「がん」になると言われています。

誰もがうろたえ、情報を求めます

しかし、世の中には玉石混合の情報が溢れているのも現実です。

「がん」を自分事として考える機会をもつことで、
その時のうろたえを少しでも減らせるのではないか。

がん経験者には、あの時、うろたえたからこそ発信できることがある。

グリーンルーペプロジェクトは、
『がん体験者が、あの時に知りたかったこと』を、多くの人に届けることを
目的に活動が続けています。

Covid-19の影響を受けた2020年度は、オンラインでの開催に切り替え
発信を続けました

発起人の一人 西口洋平さんの旅立ち 2020年5月8日

2019.11 渋谷キャスト



2018.9 越谷レイクタウン



活動を止めないようという西口さんの想いを胸に
コロナ禍も、悩み、考え、活動を継続しました

にし ぐち りょう へい
西口 洋平さん 「キャンサーペアレンツ」代表理事 5月8日死去・40歳

慎重に努力を重ねる人

西口さんとの出会いは5年前。「子育て世代のがん患者のコミュニティを作るアドバイスがほしい」と会いに来てくれたのがきっかけでした。振り返れば、西口さんが胆管がんの告知を受けて間もなくであり、孤独の中で、同世代のがん患者がつながる場を求めているのだと思います。その結果設立されたのが「キャンサーペアレンツ」でした。

西口さんとは国の委員会やがん啓発のセミナーなどで同席する機会が多くありました。そういう場の西口さんは大阪人らしい、明るく積極的なイメージですが、実際は何事も深く考え、実現に向けて慎重に努力を重ねる人でした。

一緒に始めた計画の一つが2018年からの「グリーンルーペ・プロジェクト」です。「がん患者への偏見を生ん



＝高野聡撮影

でいる一般の人との『境界』。がんを知ってもらうことでその境界をなくそう」という取り組みでしたが、実現にはいくつもの壁がありました。私が迷うたびに「どんなことにも賛否両論ある。誰かを著しく傷つけるのであれば、実現にエネルギーを使うべきだ」と背中を押してくれました。「迷う時間がもつたいたない」と話すことも多かったのですが、彼が社会に見せていた姿は実現のために迷いを振り切った覚悟の姿だったのだと思います。

旅立つ数日前までメッセージを交わしていましたが、実際に会ったのは3月が最後でした。「自分がいなくなっても、活動を絶やしてはいけない」と話していた姿と、帰る際、目を見て深くうなずいてくれたのが、彼からの私へのエールだと思っています。

（スキルス胃がんの患者会「希望の会」理事長・轟浩美）

グリーンループのアクションに賛同してくれた メンバーが増えました

一般社団法人がんチャレンジャー代表理事
花木裕介氏



メンバーの活動の応援も
グリーンループとしてしました



AYA generation + groupe
桜林 芙美 さん



ダカラコスメイト発起人
谷島雄一郎氏

2020年9月4日

当初はオリンピック・パラリンピックのパブリックビューイング会場にて
渋谷区の後援を受け、AYAがんに関する発信を予定していましたが
コロナ禍、延期の決定

同日、感染対策をして開催された音楽イベント【渋谷ズンチャカ】の
渋谷区特別枠として
AYA世代でのがん体験者である、木山裕策さんのミニステージを開催

会場となった
MIYASHITA PARK
(2020年6月open)



歌手、木山裕策さんの歌と共に
AYA世代とは何かについて発信

**Zoom
オンライン
イベント**

★
12月5日(土曜日)
AYAまつり
AYA GENERATION+group

AYA世代ってなあに？
妊孕性ってなあに？

AYAがんに関わる団体さん 座談会

プラス世代スペシャル
「40歳すぎたらどうなるの？」

妊孕性と未来のことを話そう

リアルアンサングシンデレラ
AYA世代の在宅療養支援助成について

AYA世代の世界的活躍者！

ビーチジョン
リネアストリア
メイクアップ
オンラインレモネードスタンド
+ AYA

お昼の交流会
夜は3つの交流会を開催！



AYA AG+ 2020年12月5日(土) アグタスAYA祭り

APROVEITE O RIO

Green Loupe特別企画

患者の困難にどう立ち向かうのか
卵巣がん患者の挑戦

進行：轟浩美 (Green Loupe) 講演：片木美穂 (スマイリー)

Green Loupe

卵巣がん体験者の会
スマイリー

12時10分より
スマイリーのYouTubeチャンネルで生配信

AYA世代のコミュニティであり、グリーンルーペ賛同メンバーである
AYA generation + groupe主催のAYA祭りを後援
特別企画も配信しました

グリーンルーペ発起人代表である轟は
AYAがん啓発のためのAYAweek実行委員となり、キックオフとして
2020年11月3日に、AYA世代のがんを知るオンラインセミナーを主催しました

一緒に知ろう ともに考えよう

AYA 世代のがんのこと



主催: GreenLoupeProject

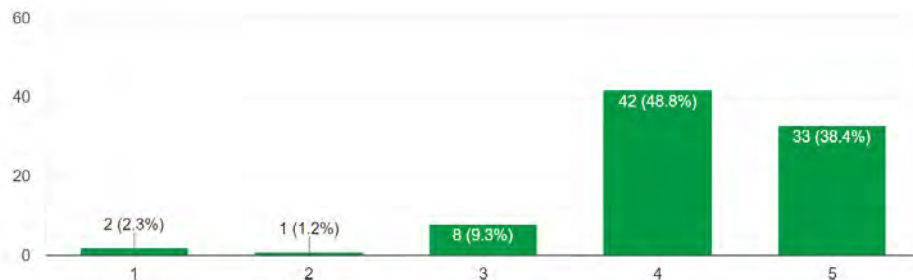
協力: AYA がんの医療と支援のあり方研究会

180名に及ぶ参加者のうち、約半数が
一般の大学生でした

同世代のがんの認知から
「自分事として考えた」
「社会に何が必要かを考えたい」
との
声が多く寄せられました

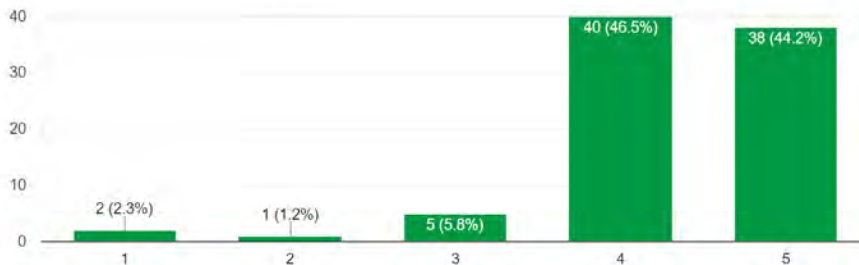
セミナーの満足度を教えてください

86 件の回答



AYA世代のがんへの理解は深まりましたか？

86 件の回答



第2回 一緒に知ろうともに考えよう AYA世代のがんのこと
～AYA世代の本音～

「AYA世代」をご存知ですか？ Adolescent and Young Adult（若春期や若年成人）の歳で、15歳～39歳までの年齢層を指します。学生、就職、恋愛、結婚、出産など、様々なライフイベントが集中する時期で、それゆえにがんの患者さんが抱える悩みも様々です。

2021年 3月7日(日) 13:00～15:00



黒 浩美
グリーンループ代表理事
東京大学大学院医学部
がん研究科 がん予防・検診学 准教授



橋本 久美子
聖路加国際病院 がん相談支援センター
がん相談支援員



多和田 奈津子
若年がん患者会ローズマリー 世話人



谷島 雄一郎
デカラコソクリエイト 代表



北見 知美
公益財団法人日本対がん協会 相談支援員
一般社団法人全国がん患者団体連絡会 理事



天野 慎介
一般社団法人グリーン・ネットワーク・ジャパン
代表理事

オンライン開催 参加費無料 事前登録制

プログラム

【第1部】講演 13:00 開会あいさつ 黒 浩美（グリーンループ 発起人代表・認定NPO法人希望の会 理事長）

AYA世代のがん患者さんの相談から見える課題

13:10～13:30 講演（20分） 橋本 久美子（聖路加国際病院 がん相談支援員）

AYA世代のがん体験者からの発信

13:30～13:50 講演①（20分） 多和田 奈津子（若年がん患者会ローズマリー 世話人）

13:50～14:10 講演②（20分） 谷島 雄一郎（デカラコソクリエイト 代表）

【第2部】パネルディスカッション 14:10～14:50

パネルディスカッション

橋本 久美子（聖路加国際病院 がん相談支援員） 多和田 奈津子（若年がん患者会ローズマリー 世話人） 谷島 雄一郎（デカラコソクリエイト 代表）

北見 知美（公益財団法人日本対がん協会 相談支援員） 天野 慎介（一般社団法人グリーン・ネットワーク・ジャパン 代表理事） 一般社団法人全国がん患者団体連絡会 理事

○参加のお申込はこちらから <https://bit.ly/3oY1fPB>

○申込締切日：3月3日まで

このセミナーに関するお問い合わせはこちらへ グリーンループ事務局 info.gl@greenlup.org

共催：グリーンループ（認定NPO法人希望の会、NPO法人若年がん患者の会、中外製薬株式会社、一般社団法人全国がん患者団体連絡会） 一般社団法人AYAがんの医療と生活のあり方研究会、公益財団法人日本対がん協会、デカラコソクリエイト株式会社、アパックス生命保険株式会社

グリーンループ 賛助団体：NPO法人がんネット、一般社団法人がんチャレンジチーム AYA GENERATION+group デカラコソクリエイト

セミナーの動画撮影・編集費に 樋口宗孝がん研究基金を使用（完成後公開予定）



若いがん患者“AYA世代”の課題解決 へ21日まで関連催し開催

2021年3月16日 5時32分 医療

シェアする ?   

がん患者のうち、10代後半から30代は「思春期と若い成人」の英語の頭文字をとって「AYA（あや）世代」と呼ばれ、治療と学業や仕事との両立が難しいなど若い世代ならではの課題を抱えています。

120名以上の参加がありました
AYA世代の課題は実年齢で区切る
ものではないという内容が反響を
呼び、NHKニュースで取り上げら
れました